

各 位

2022年2月17日

SBI AntWorks Asia 株式会社

SBI AntWorks Asia、東洋ビジネスソリューションズと 統合オートメーションプラットフォームの販売で提携を開始

統合オートメーションプラットフォーム「ANTstein SQUARE」を日本国内向けに販売する SBI AntWorks Asia 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：横山 宏明、以下「当社」）は、株式会社東洋ビジネスソリューションズ（本社：高知県高知市、代表取締役社長：入交 建太、以下「東洋ビジネスソリューションズ」）と販売契約に合意をしたことを発表いたします。

当社が提供する「ANTstein SQUARE」は、統合オートメーションプラットフォームとして、業務自動化を実現する「QueenBOT RPA」、AI の活用によって自動化の対象としてふさわしい業務を見つけ出す「Process Discovery」（プロセスディスカバリー）、AI の機能でドキュメントからデータを読み取りデジタル化する「Cognitive Machine Reading」（コグニティブ マシン リーディング、略して CMR）のような様々なプロダクトで構成されます。

東洋ビジネスソリューションズは、お客様の経営戦略の課題に注目し、真の ICT ニーズを把握するシステムコンサルティングをベースとして、最適なシステムインテグレーション（SI）を提供してきました。様々なソリューション事業でこれまでに培ったノウハウを QueenBOT RPA の展開にも適用し、業務自動化に関するコンサルティングからロボット開発、導入後の保守サポートまでを提供していきます。

今回の契約合意について東洋ビジネスソリューションズの営業部 マネージャー、前田 隆昌様は次のように述べております。

「今回、既に導入している RPA の運用やコストに課題を抱えているお客様から相談を受けました。そのお客様は、多くの方がロボット開発に従事し、RPA で多くの業務を実行しており、結果として開発・実行ライセンスに多額の費用を支払っていたことが判明しました。

現在多くのメーカーが RPA ツールを開発していますが、SBI AntWorks Asia の『QueenBOT RPA』の特徴として、業務を実行する PC 単位ではなく同時に実行するロボットの数に応じて費用が発生する課金モデルが挙げられます。時間帯が重ならなければ、1つのライセンスで複数の PC に異なる業務を実行させることも可能で、従来と比べてコストダウンが見込めます。開発ライセンスも同様で、PC ごとに費用が発生するものではなく、恒常的な開発が不要であるため、大きなコストダウンが期待できます。こうした効果を見込める企業様へ、乗り換えで特にお勧めしたいツールになります。」

「ANTstein SQUARE」についてご興味がある場合は当社（mktg@sbiantworks.com）、または東洋ビジネスソリューションズ（biz_lcs@toyobizsol.co.jp）までお問合せください。



■SBI AntWorks Asia 株式会社について <https://www.sbiantworks.com/>

2015年に創立したシンガポールに拠点を持つ AntWorks Pte.Ltd.は、シリーズ A ラウンドで SBI ホールディングスから 1,500 万米ドルを調達し、米ソフトウェア業界団体 SIIA の第 43 回 CODiE アワードで「ベスト AI ドリブンテクノロジーソリューション」を受賞するなど、AI や RPA の分野で注目されているスタートアップ企業です。

SBI AntWorks Asia 株式会社は、AntWorks と SBI ネオファイナンシャルサービシーズ株式会社による合弁会社で、日本国内を中心として、AntWorks 社の製品を販売しています。

■株式会社東洋ビジネスソリューションズについて <https://www.toyobizsol.co.jp/>

1919 年創業の東洋電化工業株式会社（高知県高知市）が親会社である東洋ビジネスソリューションズは、SI 事業としての専門性をさらに強化するため、2009 年に東洋電化工業株式会社から分社化されました。東洋電化グループが培ってきた総合力を活かし、お客様一人ひとりに最適なソリューションを提供することをお約束します。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：mktg@sbiantworks.com